

製品名: FSH β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11168**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	FSHB
別名	Follitropin subunit beta (Follicle-stimulating hormone beta subunit; FSH-B; FSH-beta; Follitropin beta chain)
遺伝子 ID	2488.0
SwissProt ID	P01225
免疫原	AA 範囲: 10-50 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

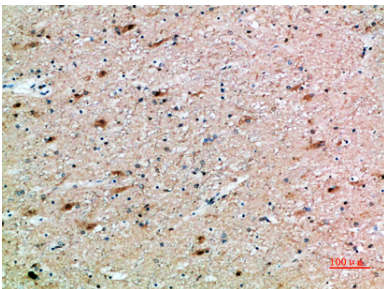
背景卵胞刺激ホルモン β サブユニット (FSHB) ホモ・サピエンス下垂体糖タンパク質ホルモンファミリーには、卵胞刺激ホルモン、黄

体形成ホルモン、絨毛性ゴナドトロピン、甲状腺刺激ホルモンが含まれます。これらの糖タンパク質はすべて、同一の α サブユニットとホルモン特異的な β サブユニットで構成されています。この遺伝子は卵胞刺激ホルモンの β サブユニットをコードしています。卵胞刺激ホルモンは黄体形成ホルモンと連携して、卵子と精子の産生を誘導します。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする2つの転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008年7月] 疾患: FSHB の欠陥は、卵胞刺激ホルモン単独欠損症 (IFSHD) の原因です [MIM:229070]。選択的卵胞刺激ホルモン欠損症は、まれな不妊原因であり、女性では無月経および性腺機能低下症、男性では正常なテストステロン値を伴う乏精子症または無精子症を引き起こします。機能: 生殖器官における卵胞の発育と精子形成を刺激します。オンライン情報: 卵胞刺激ホルモンのエントリ, オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース, 医薬品: ゴナールFまたはメトロジン HP (セローノ社)、ピュアゴン (オルガノン社) の名称で販売されています。下垂体機能低下症が証明されている女性、またはクロミフェンに反応しない女性の不妊治療、あるいは体外受精などの補助妊娠のための過排卵治療に使用されます。メトロジン HP は、男性の低ゴナドトロピン性性腺機能低下症の治療にも使用され、精子形成を刺激します。類似性: 糖タンパク質ホルモン サブユニット ベータ ファミリーに属します。サブユニット: 共通のアルファ チェーンと固有のベータ チェーンのヘテロ二量体で、甲状腺刺激ホルモン、ルトロピン、フォリトロピン、ゴナドトロピンに生物学的特異性を付与します。、

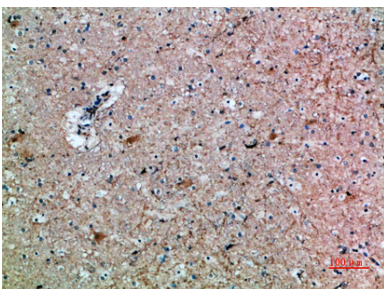
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用; GnRH;

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された